

## 布教使課程全寮制コース研修内容＜詳細＞

宗祖・親鸞聖人が明らかにされた、本願名号の真実の教えを聞信し、あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献できるよう、高度な実践力を有した布教使を養成するため、新たな布教使課程全寮制コースを実施します。

前期・中期・後期の三期、合計 100 日間の研修を通して、あらゆる人々に真実信心と念仏者の生き方を正しく・わかりやすく・ありがたく伝えることのできる言葉、話術、所作、現場対応力、対話力等を備え、浄土真宗の教義をふまえて現代社会の諸問題にも対応する能力を有した布教使の養成を行います。

布教使として、宗門の布教伝道に従事し、更なる開拓とさまざまな現場で活躍されることを期待します。

受講を希望される方は、以下熟読の上ご応募ください。

### 【布教使課程全寮制コース研修を受講するにあたって】

本課程のオンライン講義におけるテキストの学習内容、また得度習礼・教師教修をはじめ、これまで各種学校等で学習された基礎的な真宗学、仏教学、真宗史等はすでに修得及び理解されていることを前提として研修を行います。

#### 総合テーマ「伝わる」法話をめざして

- ・前期：基礎編「私にとっての浄土真宗の救い」
- ・中期：応用編「一人ひとりの苦悩に共感する」
- ・後期：実践編「わかち合い、ともにあゆむ」

#### ＜総合テーマ＞「伝わる」法話をめざして

法話において何より重要なことは、自身の遇法による喜びを自らの言葉をもって語ることで、前期では「私にとっての浄土真宗の救い」をテーマに、自身にしっかり向き合うことにより、他者に対して伝えたい内容を整理することに取り組みます。中期では、「一人ひとりの苦悩に共感する」をテーマに、社会的課題に理解を深め、聞き手の苦悩や背景に共感し、浄土真宗の救いの視座から語るができるように取り組みます。後期では、「わかち合い、ともにあゆむ」をテーマに、前期・中期での学びをふまえ、誇りと自覚を持ち、多くの人による喜びを伝え、ともにあゆみ、現代社会に常に挑み続ける布教使として、実践的な課題に取り組みます。

#### ＜前期＞基礎編「私にとっての浄土真宗の救い」

前期では、法話の基礎を体系的に学び、先輩布教使から布教に際しての心構えや、自身が法話に臨む姿勢や課題を明確にし、めざす布教使のビジョンを描きます。前期の研修の目標は以下の通りです。

- 真宗学、仏教学、真宗史等の学問的知識の確認と、法話作成を行うために必要な研鑽を行う。
- 一般寺院の法座を想定し、法話の基礎学習と実演の反復による習熟を深める。
- 「御同朋の社会をめざす」ためのさまざまな課題と実践についての理解を高める。

### 【前期の講義科目一例】

- 〈布教実演／布教実習〉基礎法話学習、布教実演・個別指導 等
- 〈教えに学ぶ〉真宗教義、仏教教義、真宗史 等
- 〈念仏者の生き方〉「私たちのちかい」に学ぶ
- 〈御同朋の社会をめざす運動〉差別・被差別からの解放をめざして 等

### ＜ 中 期 ＞ 応用編「一人ひとりの苦悩に共感する」

中期では、現代社会の諸問題についての知識とそれらの取り組みについて知見を深めるとともに、より実践的な布教伝道の研修を行います。仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみがなかった方々へ法話を行い、これからの伝道の課題や工夫を深めることに取り組みます。中期の研修の目標は以下の通りです。

- 現代社会の諸問題についての知識を深めるとともに、現実生きる人々の苦悩、生きづらさにふれ、それらに応答できる浄土真宗のみ教え、僧侶の在り方を問う。
- 前期での研修をふまえ、より実践的で現場に即した伝道の力を獲得する。
- 初めて法話を聞く方は、何が分からないのか。実際にヒアリング等を行い「伝わる」ための理解を深める。

### 【中期の講義科目一例】

- 〈苦悩に共感する～現代のさまざまな課題・現場～〉自死問題、平和問題、ビハラー 等
- 〈体験学習〉見学実習 等
- 〈布教法〉企画開拓力を磨く 等
- 〈法座のプロデュース〉法座を開設するためには、法座プレゼンテーション 等
- 〈布教実演／布教実習〉布教実演・個別指導、初めて法話を聞く方への法話 等
- 〈念仏者の生き方〉新しい「領解文」（浄土真宗のみ教え）
- 〈話し合い法座〉各課題

### ＜ 後 期 ＞ 実践編「わかち合い、ともにあゆむ」

後期では、これまでの前期・中期をふまえ、より高度な研修や実践を行います。新たな布教伝道の取り組みを自ら企画し実施することにより、布教現場を開拓していく姿勢や能力を獲得することをめざします。後期の研修の目標は以下の通りです。

- 布教伝道の更なる可能性を追求するために必要な能力、資質の向上。
- 寺院のみに限定されない布教現場を創出するための、実践的な企画・開拓力を獲得する。
- 遇法のよろこびを「正しく・わかりやすく・ありがたく」語ることができ、宗門の内外に限らず、あらゆる人々に浄土真宗のみ教えを語り、わかち合うことのできる伝道方法を身に付ける。

### 【後期の講義科目一例】

- 〈布教法〉伝わる伝道、子ども向け法話、布教とメディア 等
- 〈布教実演／布教実習〉布教実演・個別指導、新たな法座実習、伝わる法座 等
- 〈念仏者の生き方〉「念仏者の生き方」に学ぶ